

国有林のカラマツ類採種園の着果促進試験計画

独立行政法人 森林総合研究所
林木育種センター北海道育種場

1. 概 要

北海道の主要な林業樹種であるカラマツ類については、有効な着花促進技術が確立していないことに加え、近年、優良な種子の供給源である採種園内の光環境が悪化していること等により必要な種子量の生産が益々困難な状況になっている。

林木育種センター北海道育種場は、カラマツ類種子の安定的な生産に有効な採種園の整備技術を開発することを目的に、北海道森林管理局及び所管する森林管理署と協議しながら、順次、道内の国有林のカラマツ類採種園で着花促進試験を実施していく計画である。平成 22 年度は、最も改良の効果が期待できる雨紛採種園で着花促進試験に着手し、平成 26 年度からは勝山採種園(置戸町)において取組むこととしている。

2. 雨紛採種園（グイマツ F₁）での着花促進試験

①着花促進試験【短期的な対策】

- ・環状剥皮処理
- ・ホルモン剤（GA4/7）処理

②光環境改善試験【中期的な対策】

- ・帯状に間伐

③優良クローン導入試験【長期的な対策】

- ・間伐後に優良グイマツ等の導入



採種園の現況（H21.12.14）



環状剥皮処理



ホルモン剤処理

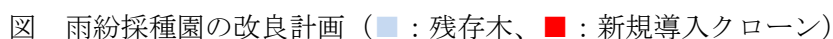


表 雨粉採種園の着花促進試験タイムスケジュール

[illegible]

採種園着花促進計画の概念図

